

「二〇一七年 原水爆禁止国民平和大行進」メッセージ

「原水爆禁止国民平和大行進」六〇周年を心からお祝い申し上げます。

一九五八年から六〇年間という永きに亘り、反核・平和を願い、立ち止まることなく歩み続けてこられたことに対しまして、深く敬意を表するものであります。

世界の人々の平和への願いに反して、核保有国の核軍縮は進まないばかりか、新たに核兵器を保有する国が出現する状況に、強い危機感を抱かざるを得ません。

このような状況の中、何としても、核兵器のない平和な未来を実現するために、共に連携し頑張りましょう。

平成二十九年六月十一日

輪島市長 梶 文 秋

2017年原水爆禁止国民平和大行進にご参加の皆様、大変お疲れ様でございました。

日頃より核兵器の廃絶と世界の恒久平和の実現を目指し、献身的にご活動されておられる皆様に対し深く敬意を表します。

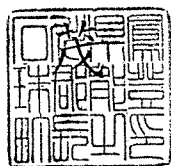
私たちは、人類史上最初の被爆国民として世界に核兵器廃絶を訴え、この平和で美しい地球を次の世代に引き継いでいかなければなりません。

今後も平和を願う皆様の活動が、核兵器のない平和な世界実現に寄与するものと期待いたします。

貴会の益々のご発展と皆様のご健康を祈念申し上げます。

平成二十九年六月十一日

能登町長 持 木 一



「2017年原水爆禁止国民平和大行進」メッセージ

原水爆禁止国民平和大行進にご参加の皆様におかれましては、世界の恒久平和と核兵器廃絶の実現を目指して、長きにわたり活動されていることに対し、深く敬意を表します。

かけがえのない美しい地球を守り、世界の恒久平和を願う人びとの心は一つであり、いつまでも変わることはありません。

しかし、私たちのこうした平和への思いに反し、地球上には、依然として多くの核兵器が存在し、世界の平和と人類の生存に深刻な不安と脅威を与えております。

我が国は、唯一の被爆国として、先頭に立って活動する責務があり、皆様方には、原水爆禁止国民平和大行進や、原水爆禁止世界大会を通じて、世界の恒久平和と核兵器廃絶への切なる願いを各国に強く発信して下さることを念願いたします。

志賀町におきましても、「非核・平和都市宣言」の町として、これからも、原水爆禁止、核兵器廃絶を呼び掛けてまいります。

終わりに、本日の原水爆禁止国民平和大行進にご参加の皆様のご健勝とご多幸を心より祈念申し上げ、私のメッセージとさせていただきます。

2017年6月12日

志賀町長 小 泉 勝

みなさん、こんにちは。 中能登町長の杉本栄蔵でございます。

本日は、^{げんすいばくきんし}原水爆禁止国民平和大行進ということで、中能登町にお越しいただき、一言ごあいさつ申し上げます。

皆様におかれましては、日頃から核兵器^{はいぜつ}廃絶の活動に取り組まれていることに対し、心から敬意を表するものであります。

さて、1945年8月に広島と長崎に原爆が投下され、21万の人々の尊い命が奪われてから、今年で72年目を迎えますが、今なお原爆による後遺症等に苦しんでいる多くの方がおいでます。

昨年5月に、オバマ前アメリカ大統領が、アメリカ大統領として初めて、被爆地の広島を訪問し、「核のない世界を目指す」決意を述べられました。

しかし、世界各地を見渡しますと、いまだにテロ行為や^{ふんそう}紛争が絶えることがなく、北朝鮮などの核保有国が存在することにより、人類は今なお、核の危機に直面しております。

私たちは、世界で唯一の被爆国として、戦争がいかに悲惨であるかを後世に伝えていくと共に、原爆の恐ろしさを風化させることなく、核兵器廃絶の声を継続していかなければなりません。

皆様のこの原水爆禁止 国民平和大行進の活動は、地道な草の根活動ではありますが、大変意義深いものであり、今後ますますの発展をご期待申し上げます。

最後になりますが、この「平和大行進」が、無事終了されますことと、皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます、私のあいさつといたします。 本日は、ご苦勞様です。

平成 29 年 6 月 12 日 (月) 午後 6 時
七尾市役所前
2017 年原水爆禁止国民平和大行進

市長メッセージ

原水爆禁止国民平和大行進の開催にあたり、原水爆禁止石川県協議会をはじめ、本日ご参加いただいた平和を愛する皆さまにご挨拶申し上げます。

広島、長崎の原爆投下から、今年で 72 年を迎えようとしています。皆さまの運動をはじめとし、我が国では、平和な世界の実現を求めて様々な取り組みがなされております。しかし、未だ世界には核兵器が存在し、戦争も絶えることがありません。

我が国は、世界で唯一、核兵器の恐ろしさを知っています。私たちは、人類が二度と悲惨な経験を繰り返すことのないよう、世界の人々と共に核の根絶を訴えていかなければならないと存じます。

同時に、私たち一人一人が、戦争の悲惨さと平和の尊さを改めて肝に銘じ、未来を担う次の世代にまで伝えていくことが大切です。皆さまの運動を通じて、平和への祈りが全国、そして世界へと広がることを心より期待申し上げます。

最後になりましたが、本日の平和大行進の目的が達成できることを祈念いたしますとともに、皆さま方のご活躍とご健勝をお祈り申し上げ、私のメッセージとさせていただきます。

平成 29 年 6 月 12 日
七尾市長 不嶋豊和

2017年原水爆禁止国民平和大行進メッセージ

日 時 平成29年6月14日(水)18:00

場 所 市役所正面玄関前

(市長代理・総務部長代読)

本日は、山辺芳宣羽咋市長が、ご挨拶をさせていただく予定でありましたが、用務のため、どうしても出席できなくなりましたので、わたくし、総務部長の備後克則であります。市長に代わってメッセージを代読させていただきます。

(原水爆禁止国民平和大行進などの成功に向けてのメッセージ)

- ① 昭和20年8月、広島・長崎に人類史上初の原子爆弾が投下され、72年の歳月が経過しようとしています。原子爆弾が与えた悲惨さは、今、なお問題を残しています。
- ② 羽咋市では、昭和63年に「平和都市宣言」をしています。
その内容は、世界最初の被爆国として、核兵器の恐ろしさと、今、なお続く被爆者の苦しみをかみしめ、この地球上に再び広島・長崎の惨禍を繰り返させないことを全世界に訴え、非核三原則を守り、すべての核の廃絶を目指すことを宣言したものです。
- ③ 昭和33年にはじまった原水爆禁止国民平和大行進も、今年で59周年を迎えました。これまでの先人のご尽力に敬意を表するとともに、本日、ここにご参集の皆様方におかれましても、引き続き平和に対する活動を継続されることが、原水爆禁止・核兵器廃絶につながる大きな原動力になるものと確信しています。
- ④ 皆様方のますますのご健勝、ご活躍と平和大行進のご成功をお祈り申し上げます。

平成29年6月14日

羽咋市長 山辺 芳宣 代読

メッセージ

毎年、多くの方のご参加を得て平和行進を続けておられること
に対しまして心から感謝と敬意を表します。

行政が取り組むべき最も基本的で重要な事項は、町民生活の
安全・安心ができる社会の構築であると考えております。

今後とも町民の皆様とともに戦争や核兵器のない平和な社
会の実現に努めてまいります。

宝達志水町長 寶達典久

国民平和大行進 激励挨拶

皆様、大変お疲れ様です。本来ならば川口町長が皆様にご挨拶申し上げるところでございしますが、公務のため、わたくし副町長の上出が町長のメッセージを読み上げさせていただきます。

今年も「国民平和大行進」が、全国で繰り広げられることは、大変意義深く、また、ここ内灘町におきましても、皆様方のご参加により、継続的に行われることに対しましても、深く敬意を表する次第でございします。

今年で、72周年となる原水爆禁止世界大会が、8月に広島・長崎で開催されると伺っております。

この大会が、核兵器のない世界を切り開く、歴史的な大会として、大きな成果をおさめてくれるものと、切に願っております。

本町におきましては、これまで「平和都市宣言」を行い、「平和都市宣言像」の建立、「平和都市を宣言する看板」を設置するなど、平和な都市づくりを推進しております。

本日の皆様方の行進により、世界の恒久平和「戦争も核兵器もない平和な世界」が実現することを、念願してやまないものであります。

皆様方におかれましては、今後とも健康に留意され、世界の恒久平和確立のため邁進されますよう、心からお祈りいたしまして、激励のあいさつといたします。

平成29年6月16日 内灘町長 川口克則 代読

国民平和大行進 メッセージ

2017年原水爆禁止国民平和大行進にご参加の皆さん、本日は富山県から引継がれ、県境、倶利伽羅からの行進大変お疲れ様でございました。

この平和大行進は、6月7日富山県朝日町を出発し広島市まで約700 kmのコースのほか、全国各地の11幹線で繰り広げられるとお聞きしております。

当町では、この出発に合わせ、広く町民に認識いただくために「平和都市宣言」の決議文を公式ホームページに掲載しております。また、毎年八月「原爆と人間展」を開催し、世界平和の実現を町を挙げて願っているところであります。

「核兵器のない世界」、「平和への思い」をこの大行進により、引き継ぎ、届けていただきますよう期待し、原水爆禁止世界大会と国民平和大行進のご成功を心よりお祈り申し上げます。

平成二十九年六月十七日

津幡町長 矢田 富郎 (代読)

メッセージ

我が国は、人類が初めて体験した世界で唯一の被爆国であり、この地球上に広島、長崎の惨禍を二度と繰り返してはなりません。

今年は、広島、長崎の被爆から七十二周年になります。ここに、原爆犠牲者の御霊に心より哀悼の念を表しますとともに、平和への実現に向けた努力をお誓いいたすものであります。

私たちは、単に戦争をなくすだけではなく、飢餓、貧困、暴力、難民、地球環境破壊など平和を脅かすあらゆる要因を排除し、人間が安らかで豊かな生活のできる、真の平和の実現に向けて不断の努力をしていかなければならないと思えます。

全国各地で、世界平和のために様々な運動が行われていますが、世界の恒久平和と「核兵器なき世界」の実現は、人類すべての願いであります。この運動が、平和希求への限りない運動として、更に大きな輪となり発展していくことを心から念じております。

平成29年6月19日

金沢市長 山野 之義

メ ッ セ ー ジ

世界平和と核兵器廃絶を呼びかけられ、全人類の平和のために日々活動を続けておられる皆様に、深く敬意を表します。

わが国は、被爆の実相を心に刻む唯一の国であります。私たちに求められているのは、あの悲惨な出来事を二度と繰り返さないよう、広島と長崎の記憶や思いを語り継ぎ、未来を守ることであります。

野々市市では、昭和59年3月に「平和都市宣言」を決議しており、毎年、市内の中学生を広島市の平和記念式典へ派遣し、原爆パネル展を開催するなど、核兵器の恐ろしさや平和の尊さを後世へと伝える取組みを行っております。

核兵器の廃絶を求める署名と募金につきましても、今年も、多くの方にご協力をいただきました。私たちが訴える平和への思いが、世界のあらゆる国や地域に届くことを願ってやみません。

皆様には、これからも、恒久平和の実現のため、さらに邁進されることを切望いたしますとともに、より一層のご活躍とご健勝を心からお祈りいたします。

平成29年6月20日

原水爆禁止石川県協議会 様

野々市市長 栗 貴 章

二〇一七年 原水爆禁止 国民平和大行進へのメッセージ

日時：平成二十九年六月二十日 午後一時三十分

場所：野々市市役所 庁舎前

二〇一七年原水爆禁止国民平和大行進が実施されるにあたり 野々市市議会を代表してメッセージをおくります

一九五八年に始まった原水爆禁止国民平和大行進は 今年で六十年目を迎え 半世紀以上にわたり実施されてきました

平和大行進がここまで長きにわたり続けてこられたことに敬意を表するとともに 核兵器廃絶を願うすべての人々の熱意と大変なご努力に対し 野々市市議会としてエールを贈りたいと思います

さて 世界で唯一の被爆国である日本は 戦後の荒廃した生活の中から 先人達の平和への思いと 血のにじむような努力により 世界でも類を見ない驚異的な復興と発展を果たしました

そのおかげで 今日私たちは平和な生活を送ることが出来ております

しかし 世界に目を向けると核弾頭搭載可能なミサイル開発やテロ・地域紛争がいたるところで起きているのが現状であります

この様な中 人類究極の殺戮兵器である核兵器の禁止・廃絶は国際的に急務であります

皆様には 人類すべてが 限りなく平和で繁栄することを願い 被爆国である我が国の平和への思いと核兵器の悲惨さを全世界に広げ 核兵器の廃絶と平和を維持するために更なるご尽力をいただきますようお願い申し上げます

私たち野々市市議会といたしましても 戦争の悲惨さを後世に伝え 平和を守り受け継いでいくために 一層の努力をすることをお誓い申し上げ メッセージといたします

平成二十九年六月二十日

野々市市議会議長 早川 彰一

2017年原水爆禁止国民平和大行進へのメッセージ

原水爆禁止国民平和大行進にご参加の皆様、大変ご苦勞様です。

この国民的取り組みが、今年で60回目を迎えられたことは、まさに核兵器の廃絶を願う多くの人々の支えによるものであり、長きにわたりこの運動に関わってこられた皆様には、心より敬意を表します。

核兵器の廃絶と恒久平和の実現は、唯一の被爆国である我が国はもとより、平和を求めるすべての国々の願いであります。

しかしながら、世界各地では未だ紛争やテロ行為が後を絶たず、真の平和への道のりは、依然として険しいと言わざるを得ません。

このような状況の中で、平和を求める人々は、核兵器の廃絶と平和社会の実現に向けた断固とした行動を示し、平和の尊さ、大切さを次世代にしっかりと伝えていかなければなりません。

平成17年に核兵器廃絶を求め「平和都市」を宣言する決議をしている本市におきましても、引き続き市民の皆様とともに平和社会の実現を目指してまいります。

平和を願う多くの人々が粘り強く求めてきた「核兵器禁止条約の実現」は、核兵器廃絶に向けた新たな一歩であります。

核兵器のない平和で希望に満ちた社会の構築に向けて、皆様には今後も平和運動の推進に努められますことを念願いたします。

終わりに、本日の原水爆禁止国民平和大行進にご参加の皆様の健勝とご多幸を心より祈念申し上げ、メッセージといたします。

平成29年6月20日

白山市長 山田憲昭

メッセージ

平素より、核兵器の廃絶を訴え、世界の恒久平和の実現に真摯な姿勢で取り組みいただき、皆様方のその熱意と行動に敬意と感謝を申し上げます。

わたくしたちは、唯一の被爆国として、再び地球上に核による惨禍が繰り返されることのないよう核兵器の廃絶を強く訴えるものであります。

本市においては非核三原則を堅持し、明るく住みよいまちづくりを目指しながら、市民すべてが核兵器のない恒久平和を誓うものであります。

平成二十九年六月二十二日

能美市長 井出 敏朗

メッセージ

原水爆禁止石川県協議会 様

二〇一七年原水爆禁止国民平和大行進に
参加の皆様、長い道のり本当にお疲れ様で
ございます。

世界平和のため、これからも頑張っ
てください。

平成二十九年六月二十三日

小松市長 和田 慎 司

原水爆禁止石川県協議会

「国民平和大行進」へ寄せるメッセージ

広島・長崎に原爆が投下されてから、早や七十年余の歳月が過ぎております。唯一の被爆国である日本人には、平和と核兵器の廃絶を願う強い気持ちがあると思います。しかしながら今日も、地球上にはまだ数多くの核兵器が存在し、私たちの周りからは核の脅威が去っておりません。

こうした中で、「核兵器のない平和で希望ある世界」の実現をめざし、様々な活動を展開されております原水爆禁止石川県協議会の皆様に対して、心から敬意を表したいと存じます。

今後とも、皆様の活動が大きな成果をあげられますことを、また、二〇一七年原水爆禁止世界大会と国民平和大行進の成功を祈念いたしまして、本市へお立ち寄りいただきました国民平和大行進に寄せる私のメッセージといたします。

平成二十九年六月二十四日

石川県加賀市長 宮元 陸